

三地区中山間地域懇談会

7月23日(土)岩沢・真人・東山の三地区の振興会と小千谷市による中山間地域懇談会が、岩沢住民センターに参加者20人を集めて開催された。

本来であれば2年前に岩沢地区担当で開催される予定であったが、コロナウイルス感染により延期され、ようやく開催されたものである。この日は大塚小千谷市長や南部の田中、駒井両市議も来賓として出席したほか、観光交流課からも大平課長と安達係長の参加があった。

議事の話提供では、最初に中山間地における生活交通について取り上げられ、岩沢、真人、東山の三地区の支援員からそれぞれ現在の状況と今後の方向性について報告が出された。その中で岩沢地区は市内で唯一コミュニティバスが市から貸与され、非常に有効的に活用されている。反面東山地区は定期路線バスの減便で今後生活交通をいかに確保していくかが喫緊の問題として判断を迫られているなどが話された。また、次の話題として各地区で支援員が独自に広報誌を作成しているが、これか

らは地域内だけでなく、インターネットサービス等を活用して地域から離れた人にも情報提供を行いたいなどの考えが示された。参加者はこの後第二部の懇親会で更なる意見の深堀を行った。



デイホームいわさわ納涼会

7月14日(木)コロナウイルス感染により長らく中止していたデイホームいわさわの納涼祭が住民センターで開催された。

開催に先立って小泉運営委員会会長は「やっとこのような会が開催できることを嬉しく思います。またデイホーム運営もかなり厳しい状態が続いており皆さんにご負担を掛けることになるが、ご理解頂きたい」と挨拶を行った。その後駒井岩沢ことぶき会会長の乾杯の挨拶で懇親会がスタート。久しぶりのお酒の集まりに参加者はみな楽しそうだった。



アトラクションでは、市内で活動する小坂今子会長の深雪会の会員4名が美しく優雅な舞いを披露し、大きな拍手を浴びていた。



駅前花壇整備第二弾

7月24日(日)岩沢ステーションフラワークラブ会員は春に続いて駅前の花壇整備を行った。この日も会員は暑くなる午前6時に集合。春にある程度の

草刈や整備は行っているが、すっかり雑草は伸びて会員は大汗をかきながら約1時間の作業を行った。



地域の広報誌をホームページに掲載

小千谷市観光交流課では、このほど市のホームページに真人、岩沢の地域づくり支援員が編集・発行している地域の広報誌の掲載を開始した。これは、今月の岩沢通信の記事でもあったように、中山間地の懇談会の話で「せっかくなので地域の支援員が情報誌を作成しているのだから、地域内で広報するだけでもほしい」という声や、おそろい地域から地域と関わりがある方などを見つけたこと意見が出されたことによる。

よるものである。現在は最新号のみ掲載しているが今後バックナンバーも順次アップする予定とのこと。係では「地域の皆さんから遠くの親戚やお友達にぜひこのことを宣伝して見てほしい」と話す。閲覧は左記のQRコードを読み取るか下記アドレスまで。



<https://www.city.ojya.niigata.jp/soshiki/kanko/chiki-kaihoushi.html>

住民センターにWi-Fi環境が整いました

岩沢地域振興協議会では住民センターでインターネットが使えるように、新たに光回線の引き込み工事を行いました。

これにより館内でスマートフォンなどのWi-Fi使用が可能になりました。接続に必要なパスワード等は住民センター事務員にお問い合わせください。

なお、家庭用ルーターのため一部繋がりにくい場所や大勢がアクセスすると速度低下が起きる場合もあります。ご理解をお願いします。



編集後記

今年春から開始したフードバンクおぢやの岩沢住民センターでの回収が好調です。スタート当初はどれくらい集まるか心配で、フードバンクの担当者「あまり期待しないでください」と話していたのですが、蓋を開けてみればビックリ。ニンジンがケースごと届いたり、米が3俵も玄関に積まれるなど予想外の嬉しい展開です。そして6月から始まった野菜の受付も好調で、水曜日に住民センターに来ると玄関のケースに入りきらないほどのズッキーニやナス、トマト、キュウリの山。引き取りに来た担当者に「この時期は同じものばかりですよ」と話すと「配るところが多いので全然構いません。大変助かっています」とのこと。

先月号の道標の記事にも書きましたが、岩沢の住民の皆さんは他人のために動いてくれる親切な人が多いですね。次号は岩沢まつりの特集号を組みたいと考えています。お楽しみに。

